

誰 1 人取り残さないため意見交換

熊本県知事が益城町の復興状況を視察

7月1日、蒲島郁夫^{かばしまいくお}県知事が木山仮設団地を訪れ、入居者たちと意見交換を行いました。

始めに蒲島知事が、「今日はそれぞれの思いを直接聞かせてほしい」とあいさつ。その後の意見交換で入居者たちは、これまでの支援への感謝や、土地区画整理事業に伴う換地・減歩に関する意見などを話しました。

蒲島知事は1人1人丁寧に対応した後、「震災からの復興で誰1人取り残さないことを目指しており、皆さんの話を聞いたことは有意義だった」とお礼を述べました。



木山仮設団地内みんなの家東集会所で意見交換



町保護司会役員がメッセージを伝達

明るい地域社会を築くために

第72回社会を明るくする運動メッセージ伝達式

役場仮設庁舎で7月8日、第72回社会を明るくする運動メッセージ伝達式が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人の改善更生について理解を深め、明るい地域社会を築くことを目的とし全国的に行われるもので、毎年7月を強化月間としています。

町保護司会^{おがたやすのり}の緒方保則会長からメッセージを受け取った西村町長は、「明るい社会づくり、住み続けたいと思うまちづくりに取り組んでいきたい」と述べました。

百歳おめでとうございます

広崎3町内の^{はややすみち}葉山安道さん

葉山安道さん(大正11年6月28日生)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

以前は、建設会社に勤めながら農業を営んでいたという葉山さん。現在も自宅敷地内の畑で野菜を育てており、毎朝早くから畑に出て手入れをした新鮮な野菜を、家族と一緒に食べるのが長寿^{ひけつ}の秘訣です。

また、好きなものはお肉とお酒で、畑仕事を終えた後、晩酌のお供にスペアリブを食べるのが葉山さんの楽しみだと、ご家族が教えてくれました。



表彰状を受け取り喜ぶ安道さんと妻エツ子さん



整備された備品の一部

蛭子町町内会で6月、コミュニティ助成事業を利用して、公民館きやま座の備品が整備されました。この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、備品整備などに対し助成を行うもの。今回の備品整備により、同町内会におけるコミュニティ活動のさらなる活性化が期待されます。